

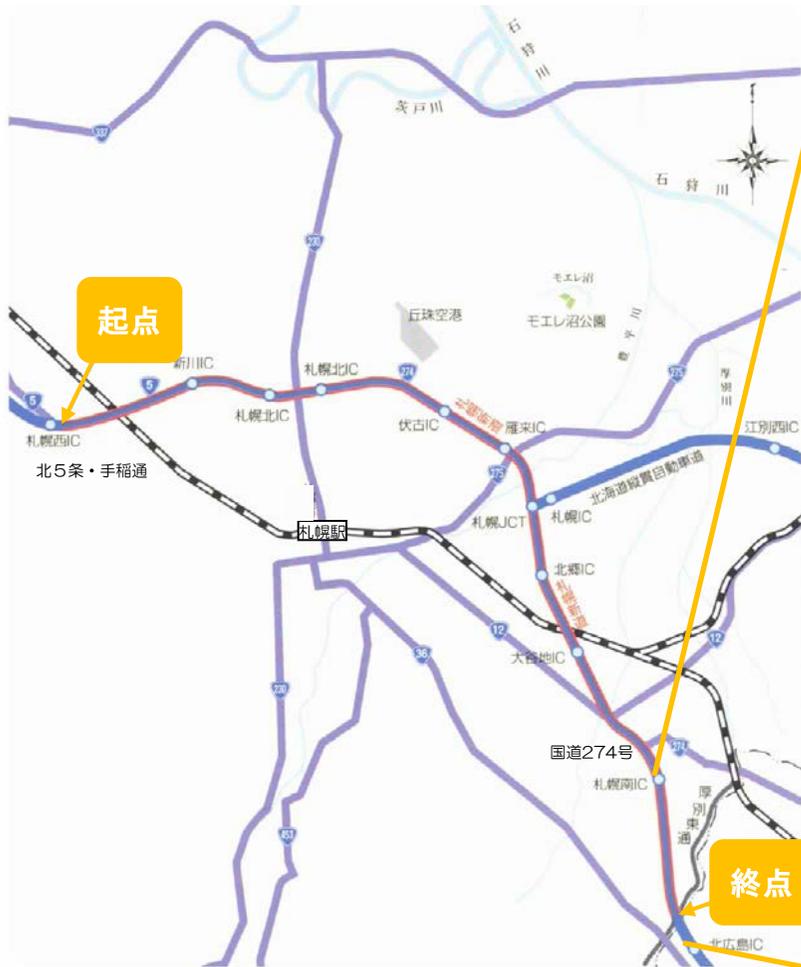
# 第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

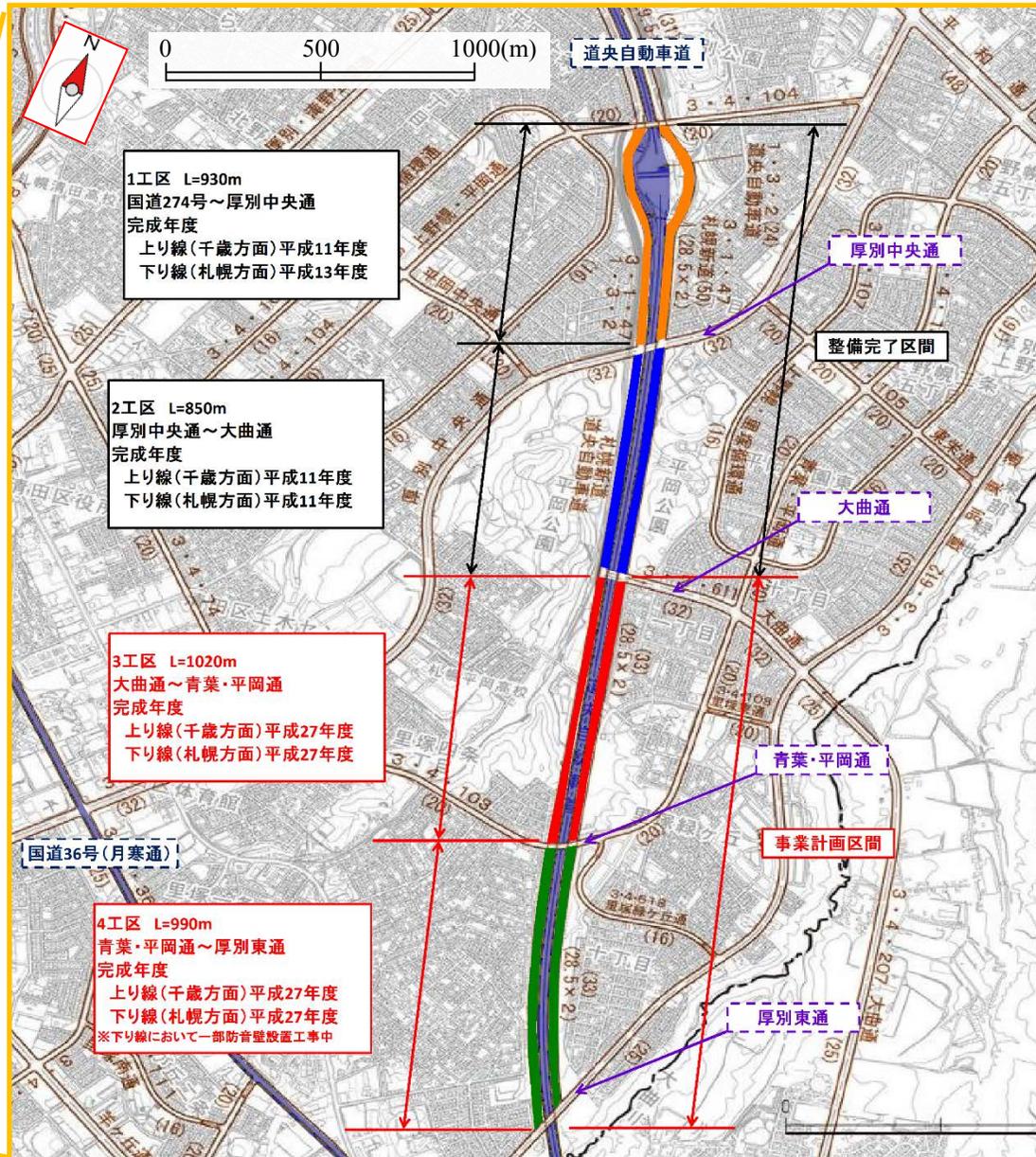
ふりがな 応募者名		さっぽろしけんせつきよどぼくぶ 札幌市建設局土木部
街路事業	ふりがな 事業の名称	さっぽろけんとしけいかくどうろ3・1・47さっぽろしんどうせいびじぎょう 札幌圏都市計画道路3・1・47札幌新道整備事業
	ふりがな 事業主体	さっぽろしけんせつきよどぼくぶ 札幌市建設局土木部
	ふりがな 実施都市名	さっぽろし 札幌市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		○事業延長:2,010m ○事業費:約81億円 ○幅員:28.5m×2(道路部分:13.5m) ○事業期間:平成12年度～平成27年度
事業の目的		札幌新道は、札幌市の骨格をなす幹線道路ネットワークのうち外環状道路を構成する路線として位置づけられており、地域間の交通の円滑化を目的としている。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	・周辺道路からの交通転換に伴う渋滞緩和 ・当該道路を緊急輸送路として防災性の向上
	定量的効果 (検証済の場合記入)	
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業前～事業中～開通後に騒音・振動調査を行い、対策が必要な箇所に遮音壁を設置中。</li> <li>・札幌新道の整備区間とその周辺には豊かな自然環境が残されており、小動物が這い上がれるスロープがついた側溝を採用、水質調査・生物固体数調査等を実施した。</li> </ul>

# 事業位置図

【札幌市全域図】

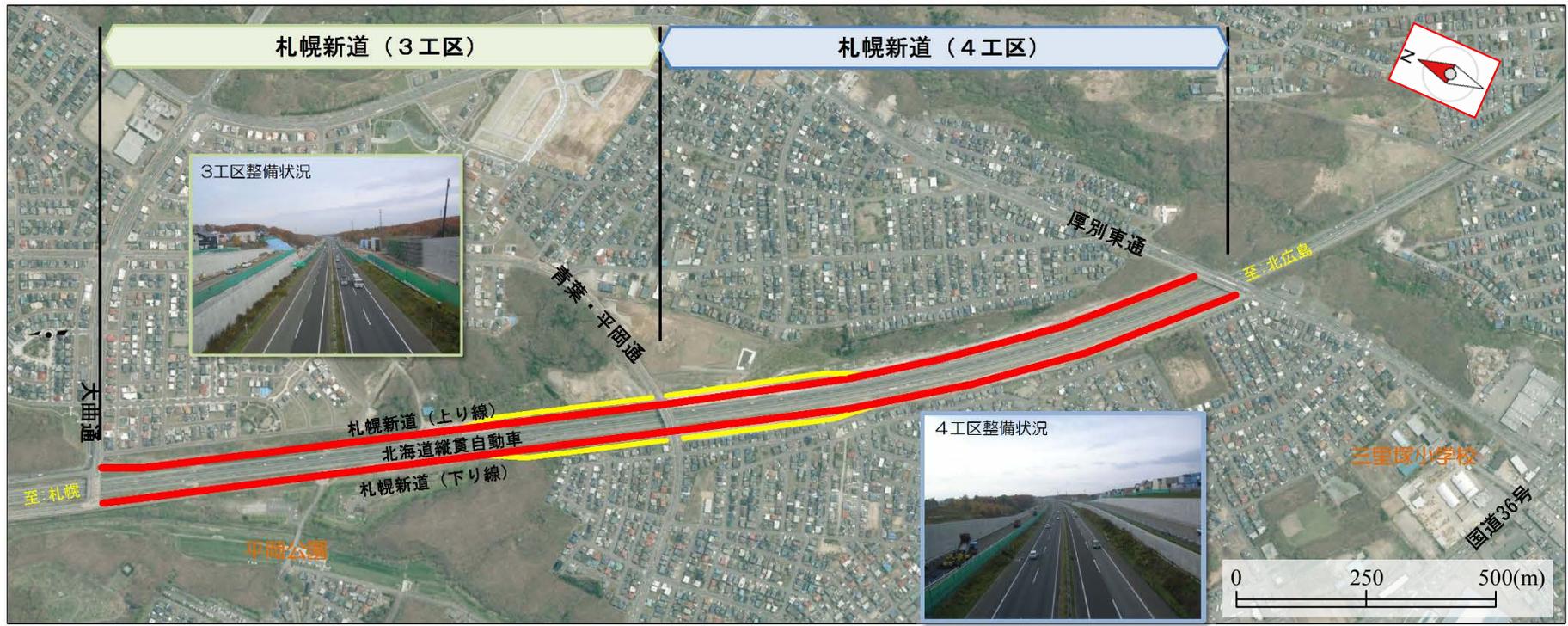


【事業箇所図】

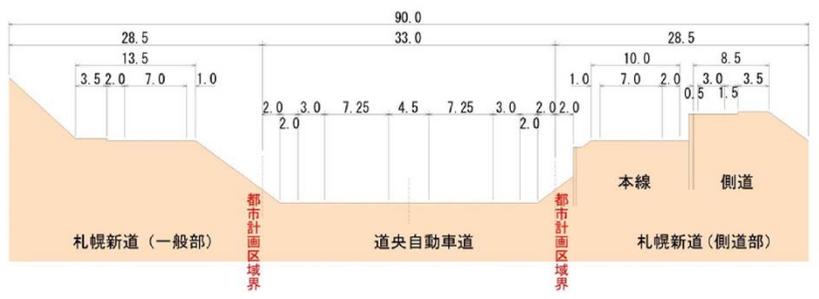


# 全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

【事業区間平面図】



【標準断面図】



# 事業前写真

平成22年6月撮影



・事業前は、写真中央部に4車線の高速道路(道央自動車道)のみ



# 事業後写真

平成26年8月撮影



平成27年4月撮影



・高速道路(道央自動車道)に併走する道路を整備

# 札幌新道の整備効果アピール資料

## ○交通量調査結果

供用前 0台（現道なし）

供用後 6,967台/12hr（h27.7）

## ○「整備効果」

札幌新道は、高速道路と併走するルートで札幌市の東・西地域を結ぶ延長25.4kmの骨格幹線道路ネットワークのうち「外環状道路」を構成する路線である。

IC改築による沿線住宅地への交通を当該道路に誘導することにより、住民の快適な生活環境の確保と安全安心の向上に寄与する。また、北広島市や新千歳空港へのアクセス強化にも大きく寄与するなど、都市としての活力維持に欠かせない広域的な連携強化にもつながる。

## ○「その他の事業効果」

道路整備で失われる水辺を再生し、工事前後における生物個体数（エゾホトケドジョウ）及び水質調査を実施そして植物を移植するなど、希少動植物の保全に寄与した。



工事前(H22.5)

面積  
=67㎡  
(うち道路区域37㎡)

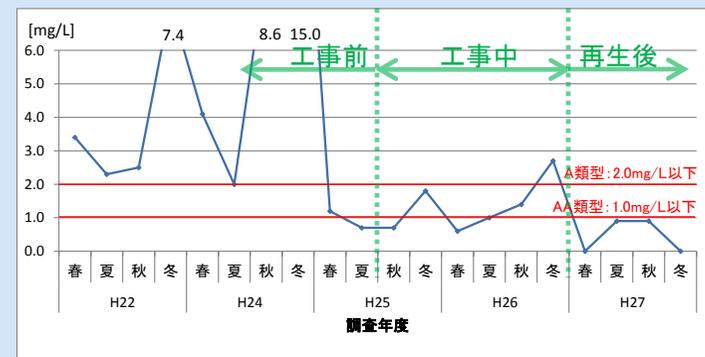
エゾホトケドジョウ  
=4匹/回



再生後(H27.5)

面積  
=70㎡  
(うち道路区域35㎡)

エゾホトケドジョウ  
=14匹/回



工事前平均BOD  
=4.4mg/L

再生後平均BOD  
=0.9mg/L

# 事業効果一覧表

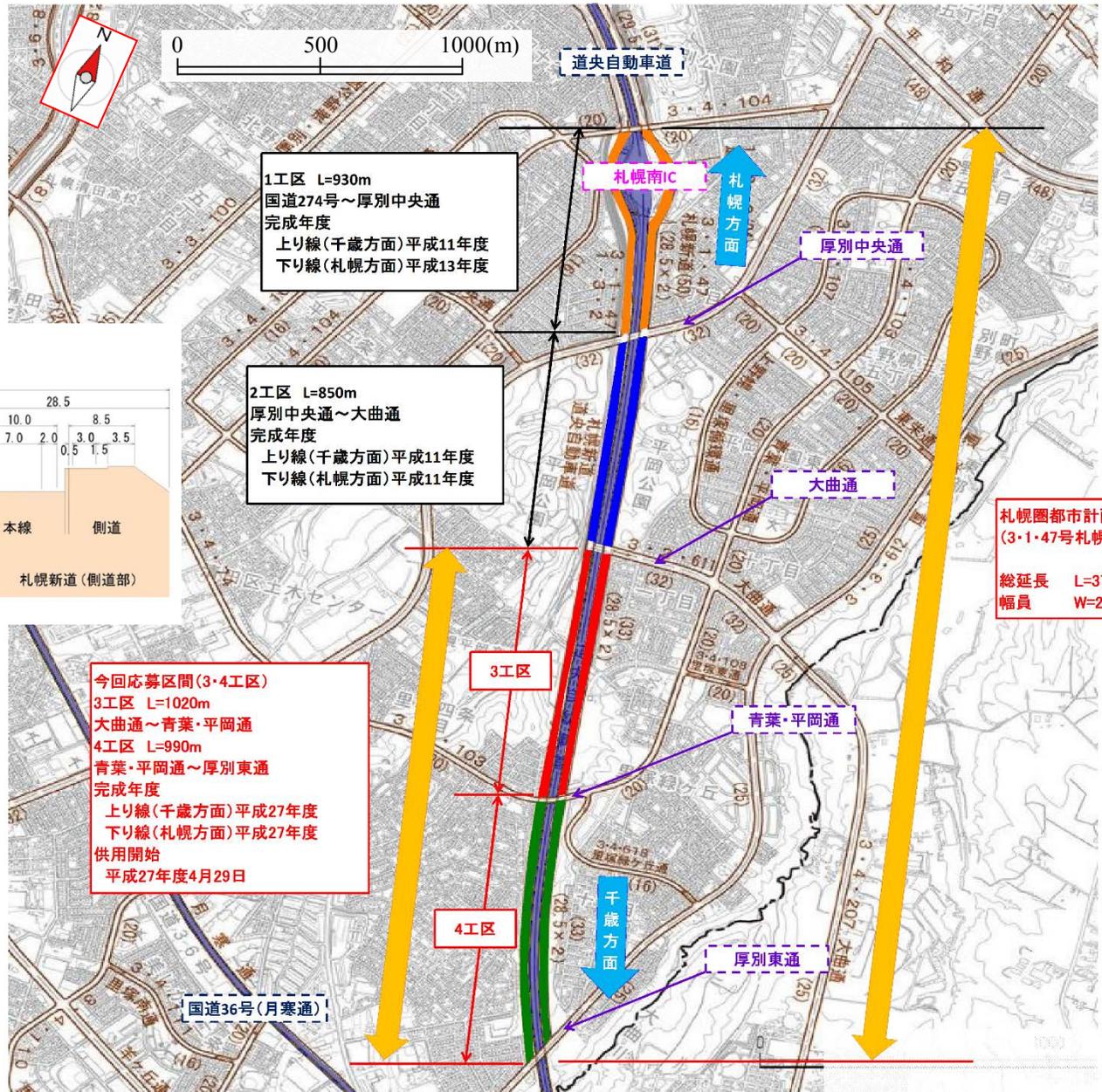
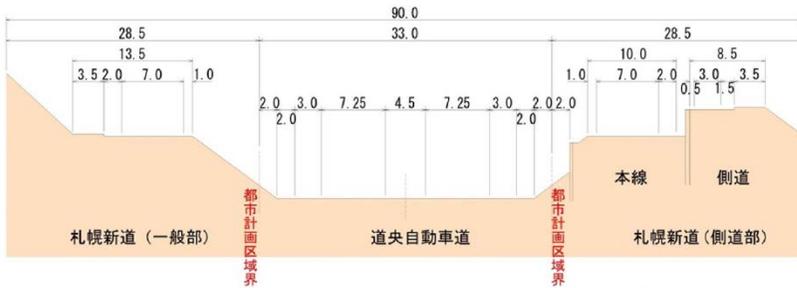
大項目	中項目	小項目	指標	該当項目
事業の効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備水準の低い地域の改善に寄与した。</li> <li>道路ネットワークの形成に寄与した。</li> </ul>	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通渋滞の緩和・解消に寄与した。</li> </ul>	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス、鉄道の利便性向上に寄与した。</li> </ul>	
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の防止に寄与した。</li> </ul>	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。</li> </ul>	
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。</li> </ul>	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。</li> </ul>	◎
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の活性化に寄与した。</li> </ul>	○
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。</li> </ul>	○
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道環境の改善や充実性に寄与した。</li> </ul>	○
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。</li> </ul>	◎
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。</li> </ul>	
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。</li> <li>事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。</li> </ul>	◎
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の事業期間を短縮し、前倒しで供用開始した。</li> <li>短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。</li> </ul>	

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

# 路線全体の進捗状況

【標準断面図】



# 都市計画図

